

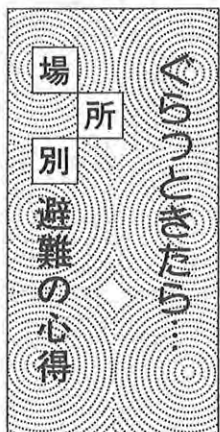
# 告知板



「地震・雷・火事・おやじ」  
 ある日、突然、何の予告もなしに襲ってくる地震の恐ろしさは昔も今も変わりありません。  
 わたしたちは、地震の発生そのものを防ぐことはできませんが、被害を最小限に食い止めることはできます。そのためには地震に対する正しい知識を持つて、日ごろから、いざというときの物心両面での準備を怠らないようにすることです。

## 木造家屋の中にいたら

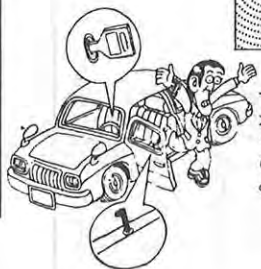
たとえ一階はつぶれても、二階はまだ安全、あわてて階段を駆け降りたり、窓から飛び出すのは危険です。屋内で安全なのは柱の多い場所、トイレの中や風呂場。揺れが激しくても、すぐは外に出ないで丈夫な机やテーブルの下に身をかく



し様子を見ること。カワラや看板、ガラスなどが落ちてきて思わぬケガをします。逃げ出すときは、きちんと火の始末をしましょう。

## 車を運転していたら

道路は波打ち、パンクしたようにハンドルをとられます。ハンドルを両手でしっかり押え、周囲に注意して、ゆっくりスピードを落としながら道路の左側に停車、エンジンを切ります。  
 カラジオで地震情報を聞き、適切な行動をとりましょう。車を置いて避難するときは、キーをそのまま、ドアはロックしないでおくこと。



## 映画館、劇場、デパートなどにいたら

これらの建物は、耐震構造でできていますから、倒れる危険は少ないとみられます。



## 街の中を通行中のとき

看板や窓ガラスの破片、外装用のタイル、ネオンサイン(塔)の落下物から身を守るため、コート、買い物袋などで頭を守りながら近くの丈夫な建物や空き地に避難しましょう。



# 民話



## 方言

天草郡大矢野町  
花影修二

「おっと、どっこいサトボタモチ」  
 昔、昔 久助どんという そりゃあ働きもんが いたとげな。  
 久助どんなよか若もんばってん たった一つ 嫁ごばもらわんとが、玉にきずだつたげな。  
 世話すきの年寄が「久どん、嫁ごばもらわんかい。よか娘がおるばい」と言っても、「まだ、早か、早か」と言って朝早よかる たった一つの財産の よう太ったこつて牛ば 引っぱって、山へ薪取りに行くのが楽しみだつたげな。  
 鳥が啼ん日はあつても、久助どんが山に出かけん日はなかと、村人人達は言うほどだつたげな。

村人達が途中であつて「お早う、久どん、又今日も山かい」と言うときまつて「あ、お早ような、今日もまたよか天気たいなあ、ほーら、ほーら、山ん娘が待つとるけん」と よう太った牛の尻ば、びしっ、びしっ と たたきながら山へ登って行つたげな。  
 夕方、いつもんごて 牛の背中にいっぴゃあ、山んごつ薪を積んで帰つて来たげな。すると どうでしゅ、細か道は向ん方かる、首の万作どんが、やつて来るではなかですか、久助どんな 心の中で「こら、しもた。」と心配になつたがわざと、 ふとか声で  
 「万どん、万どん、おっとどっこい サトボタモチ」と声かけたげな。  
 すると どうでしゅ、「こりゃ久助どん、今お帰りがい、大丈夫、大丈夫、あたりやすまい、あたりやすまい」と言いながら、細か道は、牛にもあたらずに「すまんのー久助どん」と言つて さつさつと行つてもたげな。  
 久助どんな しばらく ぼかーんと つつたつとしたが、  
 「あ、やっぱし万どんな、万どん」と一人ごと言いながら 帰つて行つたげな  
 ※「サトボタモチ」とは牛の尻からぼたり、ぼたりと落ちる ふんわりとした牛の糞のことで、牛が通るぞと言つたと。「あたりやすまい」とはばたもちいくら喰つても腹にはさわらんと言うことで、牛にはあたらんと言うことです。

## 地下街にいたら

地下街は耐震構造になっていないので、つぶれる心配は、まずありません。天井のモルタルや照明器具、窓ガラスなどの落下物に気をつけながら、壁ぎわや柱のそばに身を寄せて、様子をうかがいましょう。万一、停電しても、非常灯がつくように設計されていますから、とにかく落ち着いて行動することが大切です。

狭い出口に殺到するのは、押し倒されたりして大変危険です。



## 鉄筋建築物(ビル)の中にいたら

団地やマンション、オフィスビル、ホテルなどは構造的に一応安心とみていいでしょう。

ただ、ドアが開かなくなる場合があるので、直ちにドアを開けましょう。外に出るときは階段を使い、エレベーターは避けましょう。

## 電車やバスの中にいたら

列車や電車は、強い地震を感じると、一時停止または徐行運転する仕組みになっています。バスも、運転士の判断で停車します。つり革や柱、いすなどにしっかりとつかまり、落ち着いて乗務員の指示に従いましょう。

あわてて、非常コックなどを開けて外に飛び出すのは危険です。

地下鉄の場合も同じです。勝手に外に出ると、高圧線に触れて感電したり、反対側から来る電車にひかれる危険があります。乗務員の指示を待ちましょう。

